

# NVAニュース

No. 345

2017.12.1 発行

一般財団法人長野県バレーボール協会

上伊那郡辰野町中央 606-1

Tel: 0266-75-2101 Fax:0266-75-2102

発行責任者 竹淵 光雄

一般財団法人長野県バレーボール協会

## 創立 70 周年記念式典・祝賀会を開催

【総務委員長 内山政則】

一般財団法人長野県バレーボール協会創立 70 周年記念式典・祝賀会が 11 月 12 日（日）、ホテルブエナビスタ（松本市）にて開催されました。

記念式典の冒頭では、前回 60 周年記念式典から今日までの間にご逝去された協会関係者への冥福と感謝の気持ちを表し、1 分間の黙とうを捧げました。

続いて協会の発展に永年ご尽力いただいた下記の 22 名（欠席者 6 名）・団体 2 チームの皆様に対し、会長より御礼の言葉と表彰状が贈られました。

〈出席者〉

瀬木 潔 様・三ツ井 晋 様・齋藤 治 様・斉藤 明人 様・赤羽八洲男 様・小谷 益弘 様  
岩井かつえ 様・鈴木 功 様・金井 浩章 様・井野 兼一 様・荻原 章二 様・一岡 純示 様  
水上 明 様・市瀬 辰秋 様・高橋 慈夫 様・松倉 伸次 様

〈欠席者〉

齋藤 信明 様・嶋田 力夫 様・坂田 雅幸 様・山崎 明敏 様・宮下 保 様・岡田 隆安 様  
〈団体 女子 2 チーム〉

木曜排球団 様 大町クラブ女子 様



続いて表彰者を代表し、瀬木 潔様から喜びのご挨拶を頂戴しました。昭和 22 年 7 月に県バレーボール協会が結成され、同年 9 月に開催された長野県総合体育大会兼第 2 回国民体育大会長野県予選会は、一般の部男子に県庁高嶺クラブ、長野貯金局を始め 28 チーム、女子は 22 チーム参加という大きな大会となりました。

それから 70 年、多くの先輩、仲間の力により素晴らしい協会へと成長したことに対する賛辞、そしてこれからも原点を思い返し、出来る限り応援する旨のお話を頂きました。

終了後表彰者、協会役員による記念写真撮影を行って終了としました。

続いての祝賀会は、表彰者 16 名、団体 2 チーム、来賓 30 名、協会関係者 87 名 合計 135 名の参加で盛大に開催されました。

冒頭、日頃大変ご支援を頂戴している 12 の企業の皆様に対し、会長からお礼の言葉と共に感謝状をお渡し致しました。以下関係企業の皆様です。

(株)アサヒエージェンシー 様 ・ 管公学生服(株) 様 ・ (株)関電工長野支社 様  
北陸コカ・コーラボトリング(株) 様 ・ セイコーエプソン(株) 様  
全国農業協同組合連合会長野県本部 様 ・ (株)長野放送 様 ・ (株)マイパール長野 様  
ルートインジャパン(株) 様 ・ (株)ミカサ 様 ・ (株)モルテン 様 ・ ミズノ(株) 様

これに続きまして、竹淵光雄専務理事より70周年を迎えるまでの10年間を振り返っての経過説明がなされました。大会招致の面では合計5回の国際大会の開催。競技面では小学生1回、中学生5回、高校生1回、社会人4回の合計11回の全国優勝を成し遂げたこと。更にVリーグ参戦チームの誕生（VC長野トライデンツ・長野ガロonz）と参戦を目指すルートインホテルズチームが結成されたこと。協会運営面では、大学連盟の誕生や協会改名（上小からうえだ）。又、財政面についても触れました。最後に、3年後に迫った東京オリンピック、10年後の国民体育大会長野県開催に向けて、バレーボールとバレーボール協会の更なる発展が出来ますようお願いの言葉がありました。

又、船木正也会長からの御挨拶では、先人・同志・役員・選手が一体となって精進を重ね、バレー県：長野として隆盛を極める中、70周年記念式典・祝賀会を開催出来ましたことへの敬意と感謝の言葉がありました。今後もスポーツ文化、生涯スポーツからの観点を大切にしながら国際大会、Vリーグ等の県内開催をしたい。更にバレーボールの素晴らしさを多くの県民に伝えて参りたいとお話でした。

来賓の皆様を代表して3名の方からも御祝辞を頂戴しました（紙面の都合で一人だけ紹介させていただきます）。公益財団法人日本バレーボール協会の嶋岡健治会長様からは、バレーボールの繋ぐ力を大切に、東京オリンピックに向けて飛躍・発展を長野県協会と共にしたい旨の強い激励と決意の言葉を頂戴しました。

その後、北信越連盟・石川県協会会長：木本利夫様による乾杯の御発声で懇親会に入りました。懐かしい先輩達が旧交を暖め合う姿を見ながら、長い歴史の上に長野県協会が在るのだと再確認しました。

最後は、公益財団法人日本バレーボール協会：林孝彦様の万歳三唱の音頭で心をついにしながら、無事に祝賀会の日程を終了することが出来ました。

最後になりましたが、式典・祝賀会開催に当たり実行委員会を中心とした多くの皆様方のお力添えを頂き大成功に終わりましたことに対して、紙面をお借りして心から御礼申し上げます。今後共皆様から頂いた暖かい激励を糧に、一般財団法人長野県バレーボール協会として県民のスポーツ文化高揚に努めて参りますことを再確認して報告と致します。





## 2017 年度拡大加盟団体代表委員総会が開催される

【専務理事 竹淵光雄】

2017 年 11 月 23 日（木）、東京都新宿区エステック新宿情報ビル会議室に於いて、2017 年度拡大加盟団体代表委員総会が開催されました。当協会からは船木会長と専務理事の私が出席しました。

佐賀県野中理事長が議長に選任され会議に入り、嶋岡新会長から所信表明が行われました。3 期連続での会長の 1 期交代、オリンピックでの成績、ビーチ不参加等のお詫びの後、下記の「日本バレーボール協会基本方針」の説明・報告がなされ、職員一人一人が気を引き締めて進めて内部チェックを固め、JV A の信頼を高めるとの決意表明がなされました。

議題（報告）では、ビーチバレーボール連盟からは一貫強化システムの構築の説明と JV A 2020 東京オリンピック・パラリンピック準備状況の報告、ハイパフォーマンス事業本部からは強化状況や現在までの成績報告、今後の全日本のオリンピック目標～東京 2020：男子ベスト 4、女子メダル獲得、パリ 2024：男女メダル獲得の方針が報告されました。国際事業本部からは今後の国際大会開催状況と開催希望の取りまとめの報告、事務局からは新 MRS 登録制度についての報告、M&M 事業本部からはルールブックの販売方法の変更の報告がそれぞれなされました。

売方法の変更の報告がそれぞれなされました。

その後の意見交換の中では、JV A の説明責任、会議の透明性、理事会・評議員会のありかた等について改善意見が多く出されました。JV A からは、積極的に各加盟団体等の意見を聞いて対応し、透明性を高めたいとの応答があり、予定時間をオーバーして終了しました。

[「日本バレーボール協会基本方針」](#)

### 2017/18 V・チャレンジリーグ I 岡谷大会

## VC長野トライデンツ 2連勝で開幕戦を飾る！

【諏訪湖周辺協会指導普及委員長 大口美征】

11 月 4 日（土）5 日（日）、V チャレンジリーグ I 岡谷大会が岡谷市民総合体育館で開催されました。VC 長野トライデンツは、同リーグに参戦 2 年目にして初のホームゲームでの開幕戦となりました。

開幕戦に先立って岡谷大会参加チームの全選手が参加して開会式が行われ、ホームチームの VC 長野：栗木主将が選手宣誓を行いました。



つくばユナイテッドSunGAI Aとの対戦となった開幕戦、高さのあるつくばのブロックに苦しみながらも、24番長田の安定したトス回しで4番小林、7番栗木、6番峰村らのスパイクが機能し、要所でブロックポイント、サーブポイントがあり、第2セットを落としたものの、危なげなく勝利を決めました。



大会2日目、5日の第2戦は、大同特殊鋼レッドスターと対戦。12番山本らの粘り強いレシーブから8番田中、16番森崎のクイックやブロック、7番栗木、4番小林のサイド攻撃が次々と決まり、VC長野は開幕2連勝を飾りました。4日は660人、5日は770人とスタンドを埋めた観客は、バルーンを振って地元チームを後押し。ポイントをするたびに大きな歓声を上げました。

開幕戦を勝利した事に気持ちが一層ゆるんだ部分があったが、2連勝する事ができて良かったです。チームとしてはまだまだですが、これからもっともっと完成度を高め強いチームになっていきたいと思えます。2日間の岡谷でのホームゲームがこの2連勝につながったと思います。たくさんの応援本当にありがとうございました。これからも地域と共に戦い、優勝を狙っていきます。今後も応援よろしくお願ひします。〔監督 笹川星哉 談〕



## 第16回全国社会人9人制バレーボール東ブロック男女優勝大会

# オルガン針・佐久総合病院が共にステップアップの準優勝！

【オルガン針バレーボール部監督 木戸岡泰広】

11月9日（木）～12日（日）に岐阜県大垣市で開催された「第16回全国社会人9人制バレーボール東ブロック男女優勝大会」へ長野県代表として参加致しました。



今シーズンから新たに監督へ就任しましたが、県内では思った結果を残せないままシーズン最後の試合である今大会に臨むこととなりました。昨年、同大会においては3位という結果を残していますが、昨年の結果は意識せず、まずは1勝して流れに乗りたいという思いで初戦に向かいました。

しかし、流れに乗りたいという思いとは裏腹に、グループ予選初戦の相手は昨年の準々決勝で苦戦の上で下した群馬県代表「風雷迅」との対戦となりました。全国大会初戦ということもあり、選手よりも監督である自分が緊張していましたが、選手たちは落ち着いていました。特にレシーバーは乱れることなくアタッカーまでボールを繋げ、エースがとどめを刺すという、チームの得意とするプレースタイルへと持ち込むことが出来、ストレート勝ちでグループ予選を突破。決勝トーナメントへ駒を進めました。

2日目、決勝トーナメント1回戦を地元岐阜県代表「Flying K」と対戦してストレート勝ちをおさめたことでチームが流れに乗り、2回戦：新潟県代表「NINES」戦、3回戦：埼玉県代表「倉上組」戦をともにストレートで勝利して、昨年と同様、準決勝に駒を進めることが出来ました。

3日目、準決勝は神奈川県代表「酔球会」との対戦となりました。中盤に逆転を許しそうになりましたが、エースが勝負所で踏ん張りを見せ、昨年は手の届かなかった決勝へと進みました。

決勝では東京都代表「東京東信用金庫」と対戦。相手チームのメンバーは平均年齢 23 歳、平均身長 180 cm、バレーボールの強豪大学出身者が多いバレーボール指数の高いチームでした。ジャンプ力を生かした高い位置からのスパイクに終始対応できずに得点を重ねられ、1セット目を先取されてしまいました。2セット目では序盤にリードするも、再び中盤で逆転を許して敗れてしまいました。優勝こそ果たせませんでした。準優勝という昨年3位から一段階上がり、チームの成長が感じられる有意義な大会となりました。

最後にはなりますが、応援して頂いた会社の皆様や家族に感謝し、更に良い成績を残せるように日々努力していきます。

【佐久総合病院女子バレーボール部監督 由井 章】

11月9日～11月12日、岐阜県大垣市での全国社会人9人制バレーボール東ブロック大会に参加させて頂きました。以前実業団登録をしていた頃の選手に力を借りて即席でチームを作りましたので大変不安は大きかったのですが、予選・決勝トーナメントと試合をこなすにつれ、チームらしくなっていました。



決勝の相手は地元代表チームということもあってアウェー感に飲まれかけましたが、隣の男子決勝のコートには、昨年共に3位で同じ東信地域のオルガン針さんがいてくれたのは大きな支えになりました。試合内容は完敗ではありましたが、昨年の自分達を1つ超えることができたことは大きな収穫となりました。

多くの方に支えられ参加することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

## 平成29年度 第16回ミスノ杯北信越クラブ優勝大会を開催

【県クラブ連盟理事長 桑原康秀】

10月28日（土）・29日（日）に大町市・池田町において標記大会を開催致しました。



この大会は、本年度に各種目で全国大会（社会人除く）への出場を逃したチームを出場資格として、北信越クラブバレーボール連盟主催で毎年北信越5県を持ち回りで開催しております。長野県から始まったこの大会も第16回を迎えて4巡目となり、6人制男女、9人制男女、9人制マスターズ男子（マスターズ女子は出場チームなし）の計44チーム、約400人の選手が大町市に集まりました。また、1日目の夜には、大会本部である大町温泉郷黒部観光ホテルに大会役員、選手の総勢450人余りが一堂に会し、この大会の大きな特徴であります交流会が盛大に開催されました。

長野県からは6人制男子にケンタカムカム、男闘呼組、南長野排球倶楽部、6人制女子に上伊那選抜、TeamNIMO、9人制男子に駒ヶ根クラブ、丸子クラブ、OKAYA、9人制女子にThRough、木曜排球団、六文銭、Rin、9人制マスターズ男子に長野教員バレーボールクラブの計13チームが出場しました。9人制男子の駒ヶ根クラブが決勝戦でフルセットの末に惜しくも敗れて準優勝でした。他のチームはいずれも3位以下の結果となりました。

今大会は会場数、コート数が多く、クラブ連盟役員だけでは準備が間に合わないため、長野県から参加する13チームにお願いしたところ、選手の皆さんは朝早くから会場へ集まり、準備を手伝っていただきました。プレーすることだけではなく大会運営にご協力いただき、大成功の大会となりました。

## 第65回秋季北信越大学男女バレーボール選手権大会

### 男子は信州大学 女子は長野大学が共に3位入賞

【長野大学女子バレーボール部監督 野口京子（県大学連盟理事長）】

10月28日（土）から29日（日）に「秋季北信越大学バレーボール選手権大会」（富山県総合体育センター）が開催され3位入賞をおさめました。



今大会は、11月27日（月）から東京で開催されるインカレ（第64回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会）出場権2枠をかけた重要な大会であり、その大会への出場を目標として、夏季休業期間中に強化合宿や強豪大学との練習試合を重ね、今大会を迎えました。

大会はトーナメント形式で行われ、準々決勝では金沢星稜大学に勝利し、準決勝では優勝した新潟医療福祉大学と対戦しましたが、惜しくも敗れてインカレ出場権を獲得することはできませんでした。

その後、富山大学との3位決定戦に臨み、接戦の末セットカウント3対1で勝利し3位入賞を果たしました。個人では林莉帆（社会福祉学部4年）がベスト6に選出されました。

昨年よりも順位は上げましたが、これまで3枠あった全国の切符は、出場大学数の減少により、今年度より2枠に減ったことで涙を飲みました。何としても強豪、新潟医療福祉大学、金城大学を倒すべく今後もより一層強化を行っていきたいと思います。

【信州大学男子バレーボール部主将 山岸拓夢】

10月下旬、石川県及び富山県で開催された秋季北信越大会において、信州大学男子バレー部は3位に入賞しました。今回こういった素晴らしい結果を残せたというのは、とてもうれしいことです。



今年の5月に開催された春季北信越大会では、入れ替え戦であと一歩及ばず2部降格をしてしまいました。今回の3位入賞は春の敗戦で挫けることなくそれを乗り越え、夏の練習に打ち込むことができた結果だと思っています。

残念ながら今年から北信越のインカレの出場枠が2つに減ってしまったため、インカレへの切符を手に入れることはできませんでしたが、これからまた来年5月の春季北信越大会に向けて練習していきたくと思っています。

去年の雪辱を晴らし、1部昇格できるよう、更なる高みを目指して頑張ります。

## 男子は創造学園が5連覇 女子は松商学園が2連覇を果たす

【県総務委員長 内山政則】

11月18日(土)・19日(日)、長野市ホワイトリングに10月の1次ラウンドを勝ち抜いた男女ベスト8校、計16チームが集結。春の高校バレー出場権をかけた戦いが繰り広げられました。



男子は、5連覇を目指す創造学園高校(以下「創造」)が、松商学園・長野日大を一方的に下して決勝戦に進出。第2シード：岡谷工業高校(以下「岡工」と)の対戦になりました。5セットマッチの第1セットを岡工に先取されて苦しい立ち上がりとなった創造ですが、岡工の健闘も第2セット迄。第3・第4セットは一方的に攻め、ブロックも良く機能して、創造が春高バレーへの7回目の出場を決めました。



一方の女子は、第1シードの都市大塩尻高校(以下「都市大」)が比較的楽に決勝に駒を進めたのとは対照的に、反対ゾーンは第2シードの東海大諏訪高校と昨年の覇者、第3シードの松商学園高校(以下「松商」)が準決勝で死闘を展開しました。第1セットを30-28で奪った松商は、第2セットを22点で落としたものの、再びデュースに連れ込んだ第3セットを制して決勝に這い上がりました。

その決勝戦も激闘となりました。双方セットを連取出来ず、向かえた15点マッチのファイナルセットは、松商の執念が都市大を上回ったと言えるでしょう。松商が昨年と同じく、ホワイトリングに歓喜の声を上げることになりました。

それでは、以下、長野県代表校の代表者の言葉です。

《創造学園高等学校男子バレーボール部監督 壬生義文》

5年連続、7回目の優勝となりました。

今年のチームは下級生が中心のため、爆発力と可能性を秘めている反面、不安定さもあり、まだ相手の土俵で戦って勝ちきるだけの力はないので1セットを失いましたが、その後立ち直って勝つことが出来ました。決勝戦を通じて、又一つ強くなれたと思います。



1ヶ月後に迫った本大会では「一戦必勝」の心構えで臨み、創造学園の名前で戦う最後の大会(\*2018年4月より「松本国際高等学校」に校名変更)にふさわしく、澁刺としたバレーを展開したいと思います。

御声援の程、宜しくお願い致します。

《松商学園高等学校女子バレーボール部主将 降幡加菜》

私たちはこれまでに沢山のことを乗り越えてきました。

4月に新体制でスタートし、チーム全体が順調に成長できると信じ、期待に胸躍らせていました。しかし、なかなか思い通りに行かず、チームが低迷し続けた夏。全員で変わろうと厳しい言葉を掛け合ったこともありました。沢山泣いた思い出があります。辞めてしまいたいと思ったこともあります。でも、

そんな時、いつも話を聞いて励ましてくださった永井先生・三溝先生、どんな時もチームのことを真剣に考え、熱い想いを持ってご指導して下さった藤森先生。常に私たちを温かく応援して下さった保護者の方々。本当に沢山の方々に支えていただき、私たちはここまでバレーボールを続けることができました。



2年連続21回目の春高出場という伝統ある松商学園でバレーボールをできていることをとても誇りに思います。先輩方が築き上げて下さった伝統を自分たちも繋げていけるよう、春高という夢の舞台上で、大好きな仲間と大好きなバレーボールを思い切り戦ってきたいと思います。

今年のチームは、試合を通して成長していくことが目標です。チームは、まだまだレベルアップできます。平均身長163cmという小さなチームですが、全員で戦

う松商バレーが全国大会で大きな存在になれるよう頑張ります。全国大会まで残り少ない時間ですが、練習できる1日1日を大切に、応援して下さる全ての方々に、今よりもっと成長した姿をお見せできるよう頑張っていきます。

私たちには、どんな時も一番近くで支えてくれる仲間、先生方、保護者の方々の存在があります。全ての方々に、感謝の気持ちを忘れず恩返しプレーをしていきます。ご声援宜しくお願い致します。

## 10月～11月 ソフトバレーの各チームが県外大会で大活躍！

【ソフト連盟理事長 中山芳一】

### 第25回 全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル in 埼玉

10月7日（土）～9日（月・祝）の三日間、埼玉県さいたま市に於いて標記の大会が開催されました。

長野県からはチーム芳川（松本市）が出場。全国からの参加54チームを3チームずつ18組に分け、3チームによる組別リーグ戦を行いました。芳川は、一日目の予選リーグを全勝で1位グループになりました。二日目は組別リーグ戦の成績を元に18チームを3チームずつ6組に分け、3チームによる順位別リーグ戦を行った結果、全勝で1位グループの1位になりました。



チーム芳川

### 平成29年度ソフトバレー・北信越総合フェスティバル富山大会

10月21日（土）～22日（日）に富山県黒部市に於いて、北信越総合フェスティバルが開催されました。種別はシルバー・スポレク・レディース・フリーの各4種別が行われ、開催県は各種別4チーム、長野県からはそれぞれ各種別2チームが県代表として出場しました。

シルバーの部は八ヶ岳レンポーズと青らいでんが出場し、八ヶ岳レンポーズが予選ブロック2位、青らいでんが予選ブロック1位となり、上位決勝リーグで八ヶ岳レンポーズが1位、青らいでんが2位になる好成績でした。



チームハケ岳レンボーズ



チーム青らいでん



チームリバティアー

スポレクの部はリバティアーと四天王の2チームが出場し、リバティアーは予選ブロック1位で、上位決勝リーグでも1位となりました。

四天王は予選ブロック3位で、下位決勝リーグで2位となりました。

レディースの部はモアナとまめ鉄砲の2チームが出場。予選ブロックで両チーム共に2位となり、上位決勝リーグではモアナが2位、まめ鉄砲が3位となって、この種別でも県勢が活躍しました。



チーム モアナ



チーム まめ鉄砲

フリーの部はLaboとカナロアの2チームが出場し、予選ブロックで両チーム共に1位となり、上位決勝リーグでは長野県同士が当たり、Laboが2：0で勝って全勝で1位。1敗のカナロアが2位となり、今回の北信越総合はどの種別においても県勢は上位入賞を果たすことができました。



チーム Labo

### 平成29年度ソフトバレー・北信越ファミリー &キッズ・一般フェスティバル福井大会

10月29日(日)に福井県福井市の福井県営体育館において、ファミリー・キッズ・ゴールド・プラチナの4種別が行われ、それぞれ長野県からは各種別2チームが参加しました。キッズの部において、上位グループ豊科JVCが1位になり、小布施スポーツ少年団も3位に入る成績でした。

## 第19回全国ソフトバレー・レディースフェスティバル



チーム LOOK

11月17日（金）～19日（日）、全国ソフトバレー・レディースフェスティバルが茨城県日立市において開催されました。県代表のチーム LOOK は予選リーグを全勝で終え、決勝リーグにおいても全勝で1位ブロックの1位となり、素晴らしい成績をおさめることができました。

チーム LOOK は昨年に続き二連覇を達成となりました。

## さわやか信州 CUP 第35回長野県小学生バレーボール大会選抜優勝大会

### 小布施スポーツ少年団が男女アベック優勝を飾る！

#### 第35回さわやか信州 CUP を終えて

【小布施スポーツ少年団 男子コーチ 見海利彦】

今年も長野県内の6年生にとって、最後の公式戦となる大会が始まりました。今年度より大会名もコカ・コーラ杯から、さわやか信州 CUP に変わり、その記念大会に出場出来た事、そして結果として優勝を飾ることが出来た事に大変感謝しています。



試合を振り返ると、小柄な選手が多いチームですが、サーブとレシーブを武器に一年間努力してきた事をパフォーマンスすることができたという内容でした。

決勝戦では、1セットを先取して、2セット目を奪われた状況で流れが相手に傾くかと思われた雰囲気の中、選手達自身の口から「絶対に勝てる」と話している言葉を聞いて、安心したのと同時に成長を感じることが出来ました。

この大会を終え小学生での公式戦が終了しましたが、中学・高校に行っても楽しくバレーボールを続けて、原点が小布施スポーツ少年団である事を忘れずに頑張ってもらいたいです。最後まで小布施を応援して頂いた選手・保護者・チーム関係者の皆様に心から感謝する一年でした。

最後に今大会のスポンサー様、準備から運営等をして頂いた大会関係者の皆様、本当にありがとうございました。

#### さわやか信州 CUP 第35回長野県小学生バレーボール大会選抜優勝大会を終えて

【小布施スポーツ少年団 女子コーチ 土屋正史】

10月29日（日）にあったこの大会は、6年生にとっては小学生最後の大会でした。昨年のコカ・コーラ杯から大会名称が変わってさわやか信州 CUP になり、5年連続の優勝を、男女アベック優勝という形で有終の美を飾ることが出来ました。



試合の方は、全てがストレート勝ちで良かったのですが、リードしている場面での失点が多く、詰めの甘さが出てしまいました。しかし、試合を勝ちきることが出来たのは、選手の気持ちの強さと全国大会に出場した経験があったからだと思います。

決勝戦は、同支部で、今年は幾度となく対戦してきた戸狩 JVC との対戦でした。お互いに相手の特徴を知った者同士の対戦で、エースの打ち合いとなりました。サーブで攻め、ブロックとレシーブを粘り、攻撃に繋げるバレーが出来ました。また、サーブカットが大きく乱れなかったのが良かったです。

今年のチームは、新チームのスタート時からサーブカットが例年以上に課題となり、サーブカットを数多く練習してきました。この大会でサーブカットミスが少なかったのは、毎日の練習の成果だと思います。

6年生は、たくさんを経験できた小学生バレーだったと思います。この経験を、中学生になっても生かして欲しいと思います。そして、5年生以下の団員にもこの経験を伝えていって欲しいと思います。5年生以下は、新チームがスタートしています。この6年生の姿を見て気持ちを新たに、再び全国大会へ挑戦をしてくれることと思います。

毎年のことですが、指導者としてバレーボールを通じ、選手達の嬉し涙や悔し涙など、たくさんの成長の姿を見ています。選手の成長を間近で見ることができ、本当に嬉しい限りです。また今年一年間、たくさんの方々に支えていただきました。ありがとうございました。

最後に、この大会の準備から当日の運営まで、長野県小連の役員や開催地の佐久支部の役員の皆様など、たくさんの方々のご協力があったの今日の結果だと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

## 県体協ヒアリング ～ 今年度の反省を報告し 次年度の目標を回答

【県強化副委員長 村上里志】

11月10日(金)、(公財)長野県体育協会による国体強化事業ヒアリングが県スポーツ会館で開催され、当協会から竹淵専務理事、三溝強化委員長、強化副委員長の私と3名が出席しました。

席上、まず史上初めて本国体出場権「0」という結果に終わった北信越国体の反省・課題を報告しました。県体協からはジュニア層の強化策について幾つかの質問がありましたが、引き続き小中高校指導者、指導普及担当と更に連携を強め、中長期視点で抜本的方策を打っていく旨を回答、併せてビーチコート増設等について要望をしました。

最後に、来年度3種別以上の本国体出場と第73回福井国体において天皇杯22.5点獲得を目標とすることを宣言してヒアリングを終了致しました。

## (公財)日本体育協会公認バレーボール指導員養成講習会を開催

【県指導普及委員 桑原康秀】

11月5日(日)、18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)の5日間、大町市において標記講習会を実施しました。小・中・高校生の指導者、実業団、クラブのプレーヤー、現役大学生など23名が指導員の資格取得に向けて受講しました。



5日の開校式に続き、当協会江村恵一副会長を講師にお招きし「日本バレーボールの歴史」から始まり、県内で活躍をされています上級コーチの皆さまを講師に「バレーボールの技術論」「基本技術実習」「救急法実習」「マッサージ実習」「初心者導入法」「6・9人制のルール」他30時間の集合講習を経て、26日(日)の閉校式で無事終了をしました。

今回専門科目を修了された方は、共通科目の結果とあわせて平成30年10月に指導員として認定されることとなります。

## JOCジュニアオリンピックカップ 第29回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

### 中学選抜チームの平成29年度北信越強化練習会が開催される

【県強化委員 木下久資】

12月25日(金)から大阪市で開催される全国都道府県対抗中学バレーボール大会に向けての、北信越バレーボール連盟主催による北信越強化練習会が、11月11日(土)・12日(日)に石川県で開催されました。

男子は2日間共、七尾市の東部中学校体育館を会場に1日目は1セット回しのリーグ戦、2日目は2セットマッチのリーグ戦を行いました。結果は、16セット対戦して得セット3・失セット13でした。特に2日目は全敗ということで、最悪に近い形で終わってしまった訳ですが、その第一の原因は故障者の多さにあります。コンビで戦おうとしているのに、9月のチーム結成以来、入れ替わり立ち替わり怪我・故障が続き、強化という面では今一步物足りない現況です。唯一、クイックの質が少し向上し、サイドアウト率も上がって来ています。ブロックの雑な面を無くし、レセプションやディグを強化して行けば、充分伸び代があるチームです。

一方の女子も2日間共、羽咋市の羽咋体育館で同様にリーグ戦を行いました。こちらの方は16セット中、得セット12・失セット4で、北信越5県の中ではトップの成績でしたが、一つミスが出ると切り替えて次の流れを作っていく面での甘さが出て、2日目の福井戦は終盤で詰め切れず2セット共落として帰ることになってしまいました。築いてきたコンビバレーの更なる精度アップと共に、メンタル面での課題が浮き彫りになりました。

9月から始まったチーム作りも終盤を迎え、今まで培ってきた成果を確実にすると同時に、課題を少しでも消化して本大会に向かえるようにして欲しいと思います。

尚、本大会の予選グループ戦の組み合わせ抽選が、11月23日(土)の午後2時から読売新聞大阪本社で行われ、男子は全16組中8組で島根県・大阪南と同じ組になりました(試合会場は大阪市中央体育館)。一方女子は、3組で鳥取県・沖縄県と対戦することになりました(試合会場はエディオンアリーナ大阪〔大阪府立体育会館〕)。男女共、予選は12月26日(土)に行われ、3チーム中上位2チームが決勝トーナメントに進出することになります。

男女両チーム揃っての上位進出を期待したいと思います。又、皆様方の御声援を宜しくお願い致します。

## 第3回 Progress Plan『トレーニング講習会』を実施しました

【県協会強化委員 唐沢浩一】

11月23日（木）、松本市立筑摩野中学校体育館に於いて第3回 Progress Plan を開催しました。今回は『トレーニング講習会』ということで、高橋達也先生（日本体育協会公認アスレティックトレーナー）を講師にお迎えしました。参加者は、指導者14名、中学生選手115名、計129名でした。



まず、体の仕組みやスポーツ障害に関する講義から始まりまし  
た。言葉だけではなく、画像や動画を用いての講義は、受講者にと  
って大変分かりやすい内容でした。講習会後半は、各関節の正しい  
ストレッチ法やタイトネスチェック等の実技を行いました。選  
手は2人組になり、互いに見合って動作確認をしました。講習中、  
高橋先生ご自身の選手経験や現在指導されている高校生の姿から、  
バレーボールの動作に結びつけて解説していただく場面が多く、  
受講者もストレッチやト  
レーニングが自分のプレーに直接結びつくイメージが持てた  
と思います。講習の中にあつた「毎日コツコツ継続していつて  
欲しい」という高橋先生の言葉通り、今回受講していただいた  
指導者の皆様や受講選手の今後の取り組みに期待します。

熱心にご指導いただきました高橋先生、意欲的に参加して  
いただきました指導者の皆様、中学生選手、会場を準備して  
いただきました筑摩野中学校男子バレーボール部の関係の皆様  
に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



## 11月 試合結果

- ☆ 2017/18V・チャレンジリーグ I 男子岡谷大会  
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.11.4CL1okaya.pdf>
- ☆ 第16回全国社会人9人制バレーボール東ブロック男女優勝大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.11.9syakaijin9\\_east.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.11.9syakaijin9_east.pdf)
- ☆ 第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会長野県代表決定戦  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.11.18haruko\\_daihyo.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.11.18haruko_daihyo.pdf)
- ☆ 第38回長野県ママさんバレーボール連盟諏訪大会  
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.11.19mamasan.pdf>
- ☆ 第87回全日本9人制バレーボール総合男子選手権大会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.10.27\\_9sogo.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.10.27_9sogo.pdf)
- ☆ 2017/18V・チャレンジリーグ II 男子須坂大会  
<http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.11.25vcl2suzaka.pdf>
- ☆ 第22回長野県小学生あすなる地域交流会  
[http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.11.25asunaro\\_syogakusei.pdf](http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2017siaikeka/29.11.25asunaro_syogakusei.pdf)

## 12月スケジュール

1.	12/1 (金) ~4 (月)	第7回全国ママさんバレーボール冬季大会	(鳥取県)
2.	12/2 (土) ~3 (日)	北信越バレーボール連盟各県正副理事長(専務理事)会議	(石川県)
3.	〃	2017/18V・チャレンジリーグI男子高森大会	(高森町)
4.	12/3 (日)	第6回長野県13地区協会対抗6人制選手権大会(一般・高校の部) 兼ミズノ杯第17回6人制長野県クラブ選手権大会	(大町市)
5.	〃	長野県スポーツ指導者研修会(中南信コース)	(松本市)
6.	12/9 (土)	長野県スポーツ指導者研修会(東北信コース)	(長野市)
7.	12/12 (火)	理事長・競技力向上専門委員合同会議(国体種目)	(長野市)
8.	12/15 (金) ~17 (日) 12/23 (土) ~24 (日)	天皇杯・皇后杯全日本選手権大会ファイナルラウンド	(東京都)
9.	12/16 (土) ~17 (日)	北信越バレーボール連盟審判委員長会議	(富山県)
10.	12/20 (水)	第82回国民体育大会長野県準備委員会設立総会	(長野市)
11.	12/23 (土)	JOC第31回全国都道府県対抗中学長野県選抜チーム壮行会	(松本市)
12.	12/25 (月) ~28 (木)	JOC第31回全国都道府県対抗中学バレーボール大会	(大阪府)